

ひまわり RGB 合成画像生成 Web アプリケーション公開

気象庁のひまわり衛星（8号および9号）プロジェクトでは、異なる波長のバンド1～バンド16の16種類の画像が公開されています。これらの画像を自由にRGB合成することで、目的に応じたプロダクトを作成することができます。京都大学学術情報メディアセンターでは、ひまわりリアルタイムWebとTimeline及びTlleViewer（jQuery）技術を活用し、情報通信研究機構、千葉大学との協力のもとで、ひまわり衛星データのRGB合成画像生成Webアプリケーションを開発してきましたが、このたびα版を公開しました。

Web アプリ URL

<https://jh170034-1.kudpc.kyoto-u.ac.jp/himawariapp/natural-color/>

詳細

ひまわり衛星データの16バンドより、任意の3バンドを選択します。アプリケーション（図1）の左側メニューのLayer1、Layer2およびLayer3に3つのバンドを割り当てます。さらに、Colorメニューから3つのLayerにR（赤）、G（緑）およびB（青）を割り当てます。その際に、Opacityメニューで透明度（0~255）を指定することができます。これ（図2）はLayer1にバンド16を、Layer2にバンド01を、Layer3にバンド01と設定した場合のRGB画像です。Layer1、Layer2およびLayer3の透明度はそれぞれ256、130および256です。

α版では画面全体に色付けをしています。今後開発予定のベータ版では、背景色を黒に固定する予定です。また、RGB加算だけでなく、TrueColorやNaturalColorなどのRGB減算を行う機能を追加する予定です。

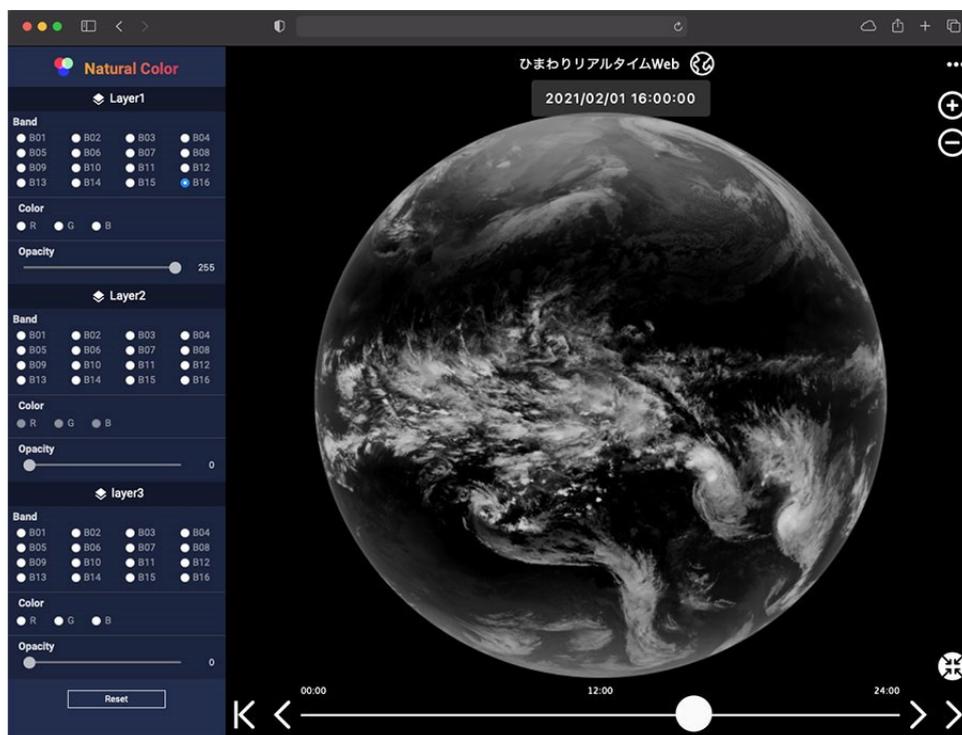


図1：Layer1にB16を選択しOpacityを256に設定し画像を表示

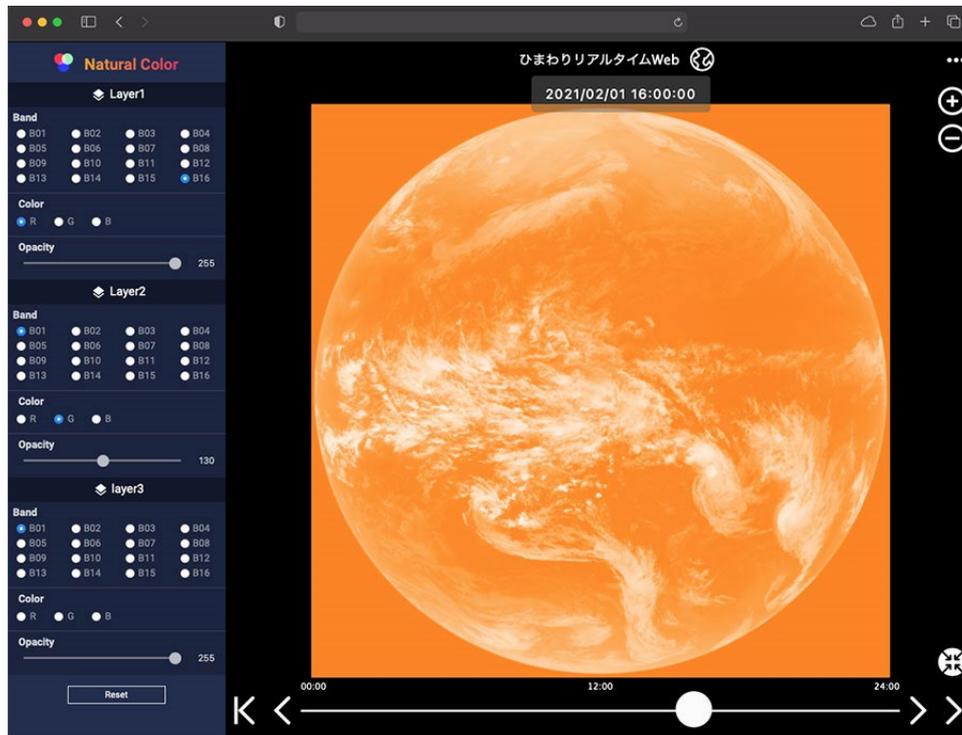


図 2： 図 1 の設定にプラスし、Layer2 に B01 を Opacity 130 で選択し合成した画像を表示

関連 Web サイト

- [ひまわりリアルタイム Web](#)
- [ひまわりリアルタイム Web 画像利用について](#)

関連組織

- 情報通信研究機構 総合テストベッド研究開発推進センター
- 千葉大学 環境リモートセンシング研究センター

謝辞

本プロジェクトは学際大規模情報基盤共同利用・共同研究拠点（JHPCN）プログラムの一環として実施しています。ひまわりリアルタイム Web のデータは文部科学省科学研究費補助金（JP19HP8020、JP17HP8019）により一部を構築しています。

連絡先・問い合わせ先

京都大学学術情報メディアセンター 深沢 圭一郎 (fukazawa@media.kyoto-u.ac.jp)